

令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

1 施策No.	7-2-1		
2 地域づくりの方向	魅力と活力にあふれるにぎわいのまち		
3 政策	観光によるにぎわいの創出		
4 施策	観光資源の発掘と活用【重点】		
5 評価担当部	文化商工部		
6 施策関連課	文化観光課	庶務課	文化デザイン課
7 評価者	文化商工部長		

8 施策の目標	区民や来街者が、国際アート・カルチャー都市豊島区を楽しめるような回遊ルート設定等、新たな観光資源を発掘します。						
	ソメイヨシノ発祥の地、トキワ荘、池袋モンパルナス、ふくろう等、豊島区のオンリーワンブランドの魅力を活用します。						
	特色あるグルメ、ショッピング等、豊島区滞在時の魅力を創出します。						
9 施策の現状と課題	<p>○Hareza池袋の8つの劇場、グローバルリングシアター、トキワ荘マンガミュージアムなど文化観光施設が次々と整備されている。こうした施設で開催されるイベントなども合わせて、豊島区ならではのブランドとして定着させていくことが必要である。</p> <p>○また、観光資源のうち、観光資源として認識され、観光PRに取り上げられているものは限定的である。より日常生活に密着した魅力的な観光資源を掘り起こし、その魅力を活用することが求められている。</p>						
10 施策の実現に影響を及ぼす環境の変化(法改正、社会状況等)	アフターコロナ及びインバウンド需要が今後急激に回復する可能性がある。						
11 今年度の施策の取組方針	<p>○としまオンリーワンブランドの定着</p> <p>○魅力的なコンテンツの発掘と活用</p>						
12 投入コストの推移	費目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	事業費合計(千円)	50,137	83,311	338,016	49,930	350,162	
	うち一般財源分(千円)	46,207	69,000	142,471	37,537	304,974	
13 施策の達成度を測る指標の推移	指標(1)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	「イベント等認知度」に対し、ふくろ祭り/東京よさこいを認知している回答の割合【%】	目標値					60
		実績値					
		達成率					
		達成状況					
	指標重要度の割合(%)	0	指標設定理由	豊島区の代表的なイベントであるふくろ祭り/東京よさこいの認知状況は、区内イベントの認知度を測る指標となるため。			
	指標(2)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	トキワ荘通りお休み処の来場者数【人】	目標値	18,000	19,750	21,500	23,250	25,000
		実績値	17,312	11,174	11,312	13,192	19,934
		達成率	96.2%	56.6%	52.6%	56.7%	79.7%
		達成状況	B:相当程度達成	C:未達成	C:未達成	C:未達成	B:相当程度達成
	指標重要度の割合(%)	50	指標設定理由	トキワ荘のマンガ文化の発信拠点であるトキワ荘通りお休み処の来場者数は、オンリーワンブランドの磨き上げ、区内外へのPR効果を指標となるため。			
	指標(3)	補助指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
トキワ荘マンガミュージアムの来場者数【人】	目標値					100,000	
	実績値					38,456	
	達成率					38.5%	
	達成状況					D:大きく未達成	
指標重要度の割合(%)	50	指標設定理由	豊島区におけるオンリーワンブランドの象徴となるマンガ・アニメ文化の新たな発信拠点として、令和2年度に開設され、施策の達成に向けた貢献度が大きい施設であるため。				
14 施策達成状況	令和2年度達成状況	59.1%	【達成状況分析】				
	C:未達成	<p>○「イベント等認知度」に対し、ふくろ祭り/東京よさこいを認知している回答の割合は、平成23年度に実施した「来街者動向調査」に基づくものであるが、以後、調査を実施しておらず、効果測定ができない状況である。</p> <p>○トキワ荘通りお休み処の来場者数は、トキワ荘マンガミュージアム開設の効果もあり、大きく伸びた。今後は、トキワ荘から始まるマンガ・アニメ文化の発信拠点となるトキワ荘マンガミュージアム及びその関連施設を回遊する来街者が増加するよう池袋地域とも連携した観光振興を進めていく。</p>					
	【指標重要度の割合の設定理由】						
○国際アート・カルチャー都市実現戦略の中でも、マンガ・アニメをはじめとしたサブカルチャーにもスポットを当てており、トキワ荘マンガミュージアム、トキワ荘通りお休み処、トキワ荘マンガステーション、トキワ荘ゆかりの地モニュメント等関連施設の回遊性向上及び池袋からの送客は最重要課題となっているため。							

令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

15 施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析	○トキワ荘マンガミュージアム、池袋モンパルナス、ソメイヨシノ、雑司が谷未来遺産、グローバルリングシアター、ふくろう等豊島区には多くの観光資源がある。SDGs未来都市及び国際アート・カルチャー都市として、アフターコロナを見据えた持続可能な国際都市として発展していくためには、としまブランドにさらに磨きをかけていく必要がある。 ○コロナ禍終息後、国内外から多くの来街者を呼び込む好機を逸せず、インバウンド対応も踏まえ、豊島区の魅力をさらに効果的に発信していく必要がある。
16 施策貢献度の考え方(設定の根拠・理由)	【貢献度の設定根拠】豊島区には多種多様な観光資源があり、この「としまブランド」にさらに磨きをかけ、効果的な情報発信、有機的な連携により、さらなる観光振興を図ることが可能となる。「としまブランド」の中でも、トキワ荘マンガミュージアムを拠点に、現代マンガ・アニメの原点となるトキワ荘のマンガ文化を後世に伝えていくマンガ・アニメによるまちづくり、及びGLOBAL RINGを拠点にクラシック音楽が夜間定期的に流れる空間創造を行うTokyo Music Evening Yubeは、今後の豊島区の観光振興の要となるコンテンツである。豊島区の観光振興の今後を左右する重要コンテンツであるトキワ荘マンガミュージアムの運営事業、ナイトライフ観光推進事業を施策貢献度が★★★、何らかの拠点が観光PRに貢献している事業を施策貢献度が★★、観光振興プラン進捗管理事務を施策貢献度が★としたところである。
17 来年度の方針(課題解決策や改善策、成果向上策について)	○国際アート・カルチャー都市の基盤整備が整った今、魅力あふれる「としまブランド」にさらに磨きをかけ、効果的な情報発信、及び有機的な連携を図ってそれを定着させる必要がある。新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底した上で、イケバスや民間事業者と連携した回遊性向上策を検討していく。
18 新規・拡充事業の効果や必要性	アフターコロナを見据えて、感染防止対策を徹底した上で、多種多様なコンテンツを連携させた誘客促進を行っていく必要がある。

19 施策を構成する計画事業							
事業整理番号	事業名	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
0503-03	ソメイヨシノプロジェクト推進事業	事業費合計(千円)	6,419	7,949	12,892	6,489	7,047
		うち一般財源分(千円)	5,199	5,579	9,949	5,266	6,012
		現状評価	A:良好	A:良好	A:良好	A:良好	A:良好
		事業特性1 任意的事業 事業特性2 国・都補助 + 区上乗せ	施策貢献度 今後の事業の方向性	★★ A:現状維持	★★ A:現状維持	★★ A:改善・継続	★★ A:現状維持
0503-04	マンガ・アニメ等を活用した観光事業	事業費合計(千円)	5,285	15,112	46,823	41,050	26,381
		うち一般財源分(千円)	5,285	15,112	42,132	37,693	23,292
		現状評価	A:良好	A:良好	A:良好	A:良好	A:良好
		事業特性1 任意的事業 事業特性2 国・都補助 + 区上乗せ	施策貢献度 今後の事業の方向性	★★ S:拡充	★★ A:現状維持	★★ S:拡充	★★ A:現状維持
0503-05	南長崎マンガランド事業	事業費合計(千円)	20,519	39,302	7,561	16,393	20,167
		うち一般財源分(千円)	18,174	27,726	4,120	8,580	17,984
		現状評価	A:良好	A:良好	A:良好	A:良好	A:良好
		事業特性1 任意的事業 事業特性2 国・都補助 + 区上乗せ	施策貢献度 今後の事業の方向性	★★★ S:拡充	★★★ S:拡充	★★★ A:現状維持	★★ A:現状維持
0503-06	(仮称)マンガの聖地としまミュージアム関係事業	事業費合計(千円)			248,404	740,131	185,247
		うち一般財源分(千円)			117,604	316,168	146,366
		現状評価			A:良好	A:良好	A:良好
		事業特性1 任意的事業 事業特性2 区単独	施策貢献度 今後の事業の方向性			★★ A:現状維持	★★★ A:現状維持
0502-05	池袋モンパルナス回遊美術館事業	事業費合計(千円)	6,850	7,850	8,700	8,700	8,700
		うち一般財源分(千円)	6,850	7,850	8,700	8,700	8,700
		現状評価	A:良好	A:良好	A:良好	A:良好	A:良好
		事業特性1 任意的事業 事業特性2 区単独	施策貢献度 今後の事業の方向性	—(再掲分) S:拡充	—(再掲分) B:改善・見直し	—(再掲分) A:現状維持	—(再掲分) A:現状維持
1301-07	豊島ふくろう・みみずく資料館の運営	事業費合計(千円)	4,513	4,596	8,753	7,662	4,577
		うち一般財源分(千円)	4,148	4,231	8,407	7,324	4,577
		現状評価	B:普通	B:普通	B:普通	B:普通	B:普通
		事業特性1 任意的事業 事業特性2 区単独	施策貢献度 今後の事業の方向性	★★ S:拡充	★ B:改善・見直し	★ A:現状維持	★★ A:現状維持
0503-07	雑司が谷未来遺産推進事業	事業費合計(千円)	5,500	5,500	4,316	5,500	6,221
		うち一般財源分(千円)	5,500	5,500	4,316	5,500	6,221
		現状評価	A:良好	A:良好	A:良好	A:良好	A:良好
		事業特性1 任意的事業 事業特性2 区単独	施策貢献度 今後の事業の方向性	★★ A:現状維持	★★ A:現状維持	★★ A:現状維持	★★ A:改善・継続
0503-08	豊島区観光振興プラン推進事業	事業費合計(千円)	1,051	3,002	6,851	1,000	1,700
		うち一般財源分(千円)	1,051	3,002	6,851	1,000	1,700
		現状評価	A:良好	A:良好	A:良好	B:普通	B:普通
		事業特性1 任意的事業 事業特性2 区単独	施策貢献度 今後の事業の方向性	★ A:現状維持	★ A:現状維持	★ A:現状維持	★ B:改善・見直し
0503-09	ナイトライフ観光推進事業	事業費合計(千円)					90,122
		うち一般財源分(千円)					90,122
		現状評価					A:良好
		事業特性1 任意的事業 事業特性2 区単独	施策貢献度 今後の事業の方向性				

* 平成30年度当初予算より南長崎マンガランド事業から

令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

1 施策No.	7-2-2		
2 地域づくりの方向	魅力と活力にあふれるにぎわいのまち		
3 政策	観光によるにぎわいの創出		
4 施策	魅力的な観光情報の発信		
5 評価担当部	文化商工部		
6 施策関連課	文化観光課		
7 評価者	文化商工部長		

8 施策の目標	ソメイヨシノ・トキワ荘などオンリーワンブランド資源の情報を始め、年間を通じた様々なイベントの魅力をも国内外へ広めるため、受け手目線に立ったPR手段を講じます。						
	情報の多言語化の推進はもとより、情報関連事業者と連携し、最新の情報発信手段の開拓・活用を進め、PRをしていきます。						
9 施策の現状と課題	<p>○豊島区には、ソメイヨシノやトキワ荘、池袋モンパルナス、雑司が谷などの歴史的・文化的資源が多数ある。加えて、様々なイベントが通年で催されているが、これらの認知度はまだまだ低く、魅力を十分に伝えきれていない。</p> <p>○情報通信技術が発達し、観光情報が容易に収集可能な状況の中、区内観光スポットの認知度を高め来街者を増やすには、新たなメディアや情報伝達ツールの開拓と効果的な活用が求められている。</p> <p>○平成31年4月の宿泊旅行統計調査によると、東京都の客室稼働率は85.3%、ビジネスホテルの場合は89.4%、シティホテルの場合は89.6%と高水準であり、多くの人々が東京を訪れていることが読み取れる。このような状況下、政府は、東京オリンピック・パラリンピック開催年である2020年の訪日外国人旅行者数の目標値を4,000万人としていたが、年頭からのコロナ禍の影響により4月の訪日外国人観光客数は前年同月比で99.9%減と、観光需要の冷え込みは甚大となったなか感染拡大防止のため出入国制限が敷かれるなど文化・観光産業は未曾有の事態に直面している。</p>						
10 施策の実現に影響を及ぼす環境の変化(法改正、社会状況等)	<p>○新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い緊急事態宣言の発令や、まん延防止措置などの実施によりイベント等が実施できない状況となっていた。</p> <p>○当初、2020年に実施予定だった東京オリンピック・パラリンピックは2021年に延期しての実施となったが、無観客での開催となった。</p>						
11 今年度の施策の取組方針	新型コロナウイルス感染症の感染者数の推移や国・都の対応などを注視しつつ、国が示した「新しい生活様式」に則った地域資源の活用について検討を勧める。						
12 投入コストの推移	費目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	事業費合計(千円)	60,885	49,058	52,731	52,731	32,657	
	うち一般財源分(千円)	59,558	47,865	52,521	52,521	32,657	
13 施策の達成度を測る指標の推移	指標(1)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	区ホームページ月平均アクセス件数(観光)【件】	目標値	20,000	22,500	25,000	27,500	30,000
		実績値	18,460	10,391	13,446	12,284	11,263
		達成率	92.3%	46.2%	53.8%	44.7%	37.5%
		達成状況	B:相当程度達成	C:未達成	C:未達成	C:未達成	D:大きく未達成
	指標重要度の割合(%)	40	指標設定理由 アクセス件数は、受け手にとって魅力的な情報が掲載、発信されているとともに、豊島区の魅力が認知されていることを示す指標であるため				
	指標(2)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	イベント延べ来場者数【人】	目標値	2,240,000	2,250,000	2,260,000	2,270,000	2,280,000
		実績値	2,112,580	2,291,370	2,273,031	1,487,860	720,000
		達成率	94.3%	101.8%	100.6%	65.5%	31.6%
達成状況		B:相当程度達成	A:達成	A:達成	C:未達成	D:大きく未達成	
指標重要度の割合(%)	60	指標設定理由 イベント延べ来場者数は、効果的な情報発信の成果を示すとともに、豊島区の魅力が認知されていることを示す指標であるため					
14 施策達成状況	令和2年度達成状況	34.0%	【達成状況分析】				
	D:大きく未達成	<p>令和2年度は1年を通じて、新型コロナウイルス感染拡大防止への取り組みとして、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置といった人流を抑制する措置があったためイベント延べ来場者数は大幅な減少となった。</p> <p>また、観光関係についても外出の自粛や都道府県境を跨ぐ移動が抑制されたことで観光需要に関連する動きが顕在化しなかったため、HPへのアクセス数も減少したものと考えられる。</p>					
	【指標重要度の割合の設定理由】						
アクセス件数は、受け手にとって魅力的な情報が掲載、発信されているとともに、豊島区の魅力が認知されていることを示す指標である。一方、イベント延べ来場者数は、効果的な情報発信の成果と、区で行われるイベントの魅力が来訪者に認知されていることを示す指標であるため、指標重要度において、成果指標の割合を高く設定している。							

令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

15 施策を構成する 事務事業評価 を踏まえた分析	コロナ禍により「観光イベント支援事業」は影響があったが、「池袋北口路上美術館事業」「観光情報発信事業」「雑司が谷情報ステーション管理運営事業」については堅調な数字を残しており、魅力的な観光情報の発信に貢献している。
16 施策貢献度の考え方 (設定の根拠・理由)	「観光イベント支援」は、ふくろ祭りのように地域と共に長年、継続しているイベントを支援している面がある。そのため地域貢献度は高い。「雑司が谷情報ステーション管理運営事業」においては、「雑司が谷がやがやプロジェクト」が、平成26年度の日本ユネスコ協会連盟の未来遺産へ認定されている。また、平成28年度には、鬼子母神堂が国重要文化財指定を受けており、雑司が谷地域の観光・文化資源に注目が高まっている中、雑司が谷案内処が果たす役割は大きい。 「観光情報の発信事業」においてもパンフレットやマップのデータ更新を行うなど、積極的な情報収集等に努めていくことに加えて、2021年3月に公開した文化・観光情報サイト「イケ・サークル」の活用など、時代のニーズに合わせた観光情報発信のあり方を整えていく必要がある。 「池袋北口路上美術館事業」については池袋北口線路沿いの壁が美観を損ねていたことから写真パネルの展示や美観維持などにより目的を達成した。そのため現時点における取組は最低限の維持管理で十分な水準にある。
17 来年度の方針 (課題解決策や改善策、 成果向上策について)	○2020年に行われる予定だった東京オリンピック・パラリンピック競技大会は新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により1年延期となったうえ、無観客での開催となり、観光産業に与えるインパクトは非常に大きいものと考えられる。一方でアフターコロナを見据えた動きも活発化していることから、社会状況を注視しつつ、臨機応変に対応する必要がある。
18 新規・拡充事業の 効果や必要性	観光情報発信のあり方を考えるなかで、地域の区民の目線で観光資源を掘り起こし、豊島区の観光誘客へと繋げる新規事業「JIMO-TOSHIMA」や文化観光情報サイト「イケ・サークル」に必要となる経費については今度の実施状況のなかで見極める必要がある。

19 施策を構成する計画事業								
事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
0503-07	池袋北口路上美術館事業		事業費合計(千円)	1,091	1,386	2,013	2,013	425
			うち一般財源分(千円)	1,091	1,386	2,003	2,003	425
			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★	★	★	★	★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持
0503-08	観光情報発信事業		事業費合計(千円)	1,614	1,245	1,432	1,432	4,289
			うち一般財源分(千円)	1,614	1,245	1,432	1,432	4,289
			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持
0504-09	観光イベント支援		事業費合計(千円)	42,876	37,735	40,935	40,935	15,880
			うち一般財源分(千円)	41,549	36,542	40,735	40,735	15,880
			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★
	事業特性2	国・都補助	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持
0504-10	雑司が谷情報ステーション管理運営事業		事業費合計(千円)	15,304	8,692	8,351	8,351	12,063
			うち一般財源分(千円)	15,304	8,692	8,351	8,351	12,063
			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持

令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

1 施策No.	7-2-3		
2 地域づくりの方向	魅力と活力にあふれるにぎわいのまち		
3 政策	観光によるにぎわいの創出		
4 施策	来街者の受入環境の整備		
5 評価担当部	文化商工部		
6 施策関連課	文化観光課		
7 評価者	文化商工部長		

8 施策の目標	新庁舎に導入したTOSHIMA Free Wi-Fiをはじめ、観光インフラの整備を行います。						
	一般社団法人豊島区観光協会と協力し、多言語対応や新たな情報発信の手段を構築する等、来街者満足度の向上を図ります。						
	平成32(2020)年東京オリンピック・パラリンピックに向け増加する外国人観光客に対応するため、観光ボランティアガイドの育成等の「国際アート・カルチャー都市」にふさわしい人材育成を積極的に支援します。						
9 施策の現状と課題	○来街者の受入においては、TOSHIMA Free Wi-Fi、観光案内標識、観光案内所など、ハード面の環境整備が進んでいる。さらに来街者の利便性や満足度を高めるには、ハード面の整備に加え、ソフト面の充実が急務となっている。						
10 施策の実現に影響を及ぼす環境の変化(法改正、社会状況等)	アフターコロナ及びインバウンド需要が今後急激に回復する可能性がある。						
11 今年度の施策の取組方針	○一般社団法人豊島区観光協会をはじめ、観光産業団体、大学等の産官学が協働し、オーバーツーリズムへの対策など想定しうるリスクについても常に配慮しながら、ユニバーサルツーリズムを街全体で推進していく。						
12 投入コストの推移	費目		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	事業費合計(千円)		59,716	66,933	52,802	126,707	
	うち一般財源分(千円)		51,640	56,559	47,345	93,334	
13 施策の達成度を測る指標の推移	指標(1)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	TOSHIMA Free Wi-Fi 利用数【人】	目標値	150,000	820,000	832,000	979,000	1,028,000
		実績値	733,961	1,664,833	2,055,898	3,103,869	1,780,513
		達成率	489.3%	203.0%	247.1%	317.0%	173.2%
		達成状況	S:目標超過達成	S:目標超過達成	S:目標超過達成	S:目標超過達成	S:目標超過達成
	指標重要度の割合(%)	60	指標設定理由 区の情報発信ツールであるTOSHIMA Free Wi-Fiが、現に利用されている状況を示す指標であるため				
	指標(2)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	外国語観光ボランティア ガイド通訳・案内業務対 応件数【件】	目標値	150	200	250	300	350
		実績値	150	128	175	149	76
		達成率	100.0%	64.0%	70.0%	49.7%	21.7%
達成状況		A:達成	C:未達成	B:相当程度達成	C:未達成	D:大きく未達成	
指標重要度の割合(%)	40	指標設定理由 外国語観光ボランティアガイドの活動状況を示す指標であるため。					
14 施策達成状況	令和2年度 達成状況	112.6%	【達成状況分析】				
	A:達成	○TOSHIMA Free Wi-Fiについては、令和2年度は、大塚駅北口整備に合わせて、アクセスポイントを設置した。目標値は上回るもののコロナ禍により利用数は大幅に減少した。 ○外国語観光ボランティアガイドの活動状況は、コロナ禍により大幅に減少した。					
		【指標重要度の割合の設定理由】					
15 施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析	○TOSHIMA Free Wi-Fi整備事業においては、主要駅及び主要観光施設での利用範囲拡大を行っており、今後も観光施設等の整備に合わせた整備を行っていく。また、令和元年度にはアプリレス連携を開始しているが、利用しやすいサービスとなるようさらなる質的改善にも取り組んでいく。						
	○観光協会に登録を行っている外国語観光ボランティアが、おもてなしの最前線で即戦力となるよう東京フラフェスタでのクム(指導者)の通訳、観光案内機能を持つグローバルリングカフェでの通訳等に従事する予定だったが、コロナ禍により令和2年度は実現できなかった。引き続き、官民が連携をして、実践の場を提供していく。						
	○外国人を含む様々な来街者が、最適なルートで目的地へたどり着けるよう多言語表記の案内サインの整備を行っていく。						

令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

16 施策貢献度の考え方 (設定の根拠・理由)	【貢献度の設定根拠】国際アート・カルチャー都市実現戦略において、インバウンド機能の強化における滞在環境の充実として、TOSHIMA Free Wi-Fiアクセスポイント整備をあげていることから、Wi-Fi基盤整備を行うインバウンド推進事業を施策貢献度が「大きい」事業、多言語対応による情報発信、ボランティアガイドの育成等に係る観光協会への補助事業である観光振興事業を施策貢献度が「ふつう」の事業、外国人を含む来街者を目的地へ確実に誘導するための観光案内標識整備推進事業については、主要観光施設である目的地へ誘導するための最低限のインフラ整備事業であり、施策貢献度が「低い」事業としている。
17 来年度の方針 (課題解決策や改善策、 成果向上策について)	OSDGs未来都市及び国際アート・カルチャー都市として、アフターコロナを見据えて、入国制限の解除に備えた受入環境整備を検討していく必要がある。
18 新規・拡充事業の 効果や必要性	〇コロナ禍が長期戦の様相を呈する中、感染防止対策を徹底した上での対面でのおもてなし環境の整備、入国制限の解除に備えた受入環境整備を検討していく必要がある。

19 施策を構成する計画事業								
事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
0503-13	インバウンド推進事業		事業費合計(千円)	21,907	29,904	12,175	12,676	10,546
			うち一般財源分(千円)	14,804	20,468	7,674	8,933	9,246
			現状評価	B:普通	B:普通	B:普通	B:普通	B:普通
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★
	事業特性2	国・都補助	今後の事業の方向性	S:拡充	A:現状維持	A:現状維持		
0503-14	観光案内標識整備推進事業		事業費合計(千円)	3,992	3,138	2,273	75,896	49,291
			うち一般財源分(千円)	3,019	2,200	2,273	46,516	31,098
			現状評価	B:普通	B:普通	A:良好	A:良好	A:良好
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★	★	★	★	★
	事業特性2	国・都補助	今後の事業の方向性	S:拡充	A:現状維持	A:現状維持	A:改善・継続	
0503-15	観光振興事業		事業費合計(千円)	33,817	33,891	34,984	38,135	37,187
			うち一般財源分(千円)	33,817	33,891	34,984	37,885	37,187
			現状評価	B:普通	A:良好	B:普通	B:普通	B:普通
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持		B:改善・見直し
0503-14	としま区民センター内インフォメーションセンター運営事業		事業費合計(千円)				29,999	62,350
			うち一般財源分(千円)				29,999	62,350
			現状評価				B:普通	B:普通
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度				★★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性					B:改善・見直し